

平成23年
新司法試験
**最新
合格者
講義**

**「すべらない」「ひとりゼミ」「あなたの答案」に続く
論文の書き方シリーズ第4弾 早くも登場!**

**あなたを救うルール=「粹」という発想。
論文力をきたえる77のルール。**

OPEN 「粹」できたえる論文力

東京本校 10/14(金) **LIVE**

辰巳各本校 10/19(水)~ **VB**

通信部 発売開始 10/26(水)

講師オリジナル新システム添削参加型講義を採用。
自ら講義に参加することで驚きの効果が得られます。
合格者も大絶賛!! 不合格者によるビフォーアフター答案。

この講座にむけて、不合格者の再現答案を添削し、不合格者自らに答案を書き直してもらいました。そこで、分かったのが本人にはそのつもりがなくても、知識の吐き出し答案になり結局「答案もどき」のものしか書けていないことがよく分かりました。この講座では、ルール講義の後に、ルールに従って、皆さんに不合格者答案ビフォーを添削してもらいます。受動的講義と能動的講義を併用することで、みなさんが、実際に司法試験の「粹」を体得できているかをアフター答案で確認します。この講師オリジナルプログラムで不合格答案(答案もどき)を「粹」を押さえた答案(本当の意味での答案)に改善することを徹底指導します。

講座仕様

回数 全4回・12時間

科目 公法系・民事系・刑事系

講師 平成23年新司法試験合格者
長江 俊輔 講師
Profile

東京大学法科大学院(既修者コース)修了。第6回本試験にて受験1回目で総合順位129位で見事に合格。「ゴールから逆算」をモットーに合格への最短かつ合理的な道筋を練り上げる戦略家。試験委員に評価されるためには、普段どうすればいいかななどを徹底追究。「司法試験」というものの本質から考え、司法試験の「粹」を掴む。「粹」の外と内を意識することで、やるべきことが絞られ合理的に勉強が可能に。オリジナルの問題文の読み方・答案の書き方をルール化。本試験の極限状態でもルールに則って論文を書き進めることで、総合成績129位的好成绩を得る。発表後、不合格者を指導し、「初めて法的三段論法の本当の意味がわかった。」とその指導力とルールに大絶賛! 周りの合格者もそこまで、意識していなかったと効果的なルールに驚嘆。何をインプットすればいいのかわからない、論文で苦しんでいる、点が伸び悩んでいる受験生に是非とも自分のノウハウを伝え、書き方、やり方1つで、合格できることを分かって欲しいという熱い気持ちで辰巳の教壇に立つ。

**知識があっても試験には落ちます。
その理由は司法試験の本質=「粹」が分かっていないから。
「分かっている」と「使える」は全く違う!!
「わかっている」ことを「伝える」ルール=「粹」という技術。**

知識があっても不合格。合格者と不合格者、答案の筋は同じでも点差が開く。これらの理由は1つ。司法試験の本質=「粹」が分かっていないから。この講座では、司法試験の「粹」を通して、問題文の読み方、答案の書き方、インプットの仕方を講義します。合格者と同じことを書いたのに不合格、答案の「粹」が決まっていない、今年なぜ落ちたのかわからない、書いたことが添削者に伝わらない、未知の問題が怖い、そんな不安を抱えている方におすすめします。

**あなたを楽にする「粹」の発想!
インプットからアウトプットまで「粹」で悩み解消!
「粹」の発想で合格のサイクルにのっかろう!**

司法試験の「粹」が分かると、答案で書くべき必要事項やキーワードが自然と見えてくるようになります(講義でも実践します)。判例や基本書を読むときもそこだけを記憶すればよくなるので、必然的にやる量が絞られます。その分答案練習などに時間が割ける。ますます答案がかけられるようになるという好循環が産まれます。皆さんも「粹」を早く掴んで、このサイクルに乗っかって是非合格を勝ち取ってください。

●スケジュール

	東京本校		辰巳各本校		通信部
	LIVE	時間割	VBブース	利用終了	
			利用開始		発送日
					以降随時
1	10/14(金)	14:00-17:00	10/19(水)	11/19(土)	10/26(水)
2	10/18(火)	14:00-17:00	10/23(日)	11/23(水)	
3	10/19(水)	10:00-13:00	10/24(月)	11/24(木)	
4		14:00-17:00			

*辰巳各本校...東京・横浜・大阪・京都・名古屋・福岡本校

●受講料(税込)

通学部		
講座コード	辰巳価格	代理店価格
11NA1*	¥21,000	¥19,950

通信部				
DVDコード	MDコード	セットコード	辰巳価格	代理店価格
R-295R	R-295M	R-295	¥23,100	¥21,945

*注1 通学部は、受講会場(東京校・大阪校など)を申込段階でお選びいただけます。

*注2 通信部は、媒体の別(DVD又はカセットテープ又はMD)をお選びいただけます。

MDはMDLP対応機種のみ、DVDはDVD-R対応機種でのみご利用いただけます。ご自身のプレーヤーをご確認のうえお申し込み下さい。

注3 注1での選択を、上記受講料表中の「講座コード」の「」の箇所以下記述の会場コードによって記入して下さい。

例) 東京校でLIVE又はVideoBoothで受講の場合→「講座コード11●●●*」の「*」に「H」を当てはめ→「11●●●H」

講座コードの「*」に当てはめる、通学部の会場選択の記号の一覧表

通学 東京校はH	通学 横浜校はY	通学 大阪校はK	通学 京都校はM	通学 名古屋校はN
通学 福岡校はF	通学 宇都宮校はU	通学 岡山校はL	通学 高松校はA	通学 鹿児島校はZ

辰巳法律研究所
http://www.tatsumi.co.jp/

東京本校 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-3-6
横浜本校 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-23-5 銀洋第2ビル 4F
大阪本校 〒530-0051 大阪市北区太融寺町 5-13 東梅田パークビル 3F
京都本校 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町 670 京都フクトクビル 6F
名古屋本校 〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-26-22 名駅ビル 3F
福岡本校 〒810-0001 福岡市中央区天神 1-10-17 西日本ビル 8F

TEL 03-3360-3371 (代表)
TEL 045-410-0690 (代表)
TEL 06-6311-0400 (代表)
TEL 075-254-8066 (代表)
TEL 052-588-3941 (代表)
TEL 092-726-5040 (代表)

事例：甲がVを斧で殴った。救急車で運ばれたが、Vが暴れたため、死んだ。

2年前の講師答案もどき

ルールを適用すると

⇒⇒⇒⇒⇒

現在の講師答案

1. 甲の罪責

…(略)…殺人罪の成立が考えられる。本問では、因果関係とは何か、問題となる。

刑法上の因果関係とは…(略)…危険の現実化である。そうだとすると、Vの死の原因が甲の行為にあるといえる場合には、甲の行為の危険が現実化したといえるから。殺人罪の成立が否定されないと考えられる。

本件において、Vの出血は多く、甲の行為は斧でVを殴るといふものであったという事情の下では、因果関係が否定されないと解される。

よって、甲には殺人罪が成立する。

第一 甲の罪責

1. 殺人罪の成否

(1) 因果関係

ア. …(略)…殺人罪の成立が考えられる。もっとも、Vが病院で暴れたという事情が介在しているため、甲の行為とVの死亡結果との間に因果関係が認められるか問題となる。

イ. 刑法上の因果関係は…行為者の行為の危険が結果へと現実化した場合に認められる。そして、被害者の行為が介入した場合には、行為者の行為の危険性と、被害者の行為の危険性及び異常性を勘案し…(略)…判断する。

ウ. 甲はVを斧で殴っているが、斧での攻撃は即死をも惹起しかねない行為であるから、行為者の行為の危険性は高いといえる。…(略)…

エ. よって、行為者の行為の危険が結果へと現実化したといえ、甲の行為とVの死亡結果の間には、因果関係が認められる。

(2) したがって、他の要件には問題はなく、甲には殺人罪が成立する。

●講師メッセージ

みなさんは、司法試験に合格するために最も必要なものは何かと聞かれて、即答できますか。私の受験生活は、これを自問自答し、試行錯誤する日々でした。LS入学時の私の実力は、それはひどいもので、LS入試の点数開示をしたところ、もう一步で不合格の、底の底の点数。それもそのはず、法曹の道を目指したのが遅かったため、基本7科目にかけた時間は1年程度。しかも、予備校に通ったことは無く、「答案の書き方」も分かってない。そこで思ったのです。ここはLS、周りも自分と同じ時間をかけて勉強するだろう。普通にやっていたら追いつけない。同じLSで、半分の人落ちる試験。このままだと……。そのような焦りから、司法試験に受かることに照準を定め、無駄を省き、量だけではなく質も上げようと、日々勉強方法について悩み、磨き上げていきました。そうして、冒頭の質問に対して私が出した答えは、「枠」という発想でした。法律知識の点で先を行っている人達の差を埋めるには、ここしかないと確信したのです。思うように点数が伸びないと感じているあなたも、この「枠」を軸にした方法論を身につければ、必ず差は縮めることができます。既に相当の実力を身につけている場合でも、「枠」の発想はあなたの論文力に安定感を与えるでしょう。添削体験型講義を通じ、皆様を完全勝利の道へとナビゲートいたします。

●答案提出に協力してくれた不合格者の方の感想

「問題提起→規範→あてはめ→結論」、「法的三段論法」、「論述の濃淡(山と川)」…どれも聞いたことがありました。頭では理解していたつもりでした。しかし、今回、講師のレジュメと添削を通じて、自分がいかに分かっていなかったか、答案上で出来ていないかがよくわかりました。講師のすごいところは、どうやれば、それらが、効果的に答案上示せるかというルールがわかりやすい形で用意されていることです。来年は講師の「枠」で必ずリベンジ合格してみせます。

●レジュメを見た合格者からの講座推薦文

「法的三段論法」の重要性や論文で「制度趣旨」を書く必要性は、法律の勉強を始めて間もないときから誰もが言われ続けます。しかし、その重要性がわかっていたとしても、それを実際にどうやって答案に表現するか、その方法をつかめないまま本番に突入してしまう人が多くいるように思います。「優秀」な人は自分で過去問等の答練を通して、その方法を編み出すことができるのかもしれませんが、多くの人はそうではないでしょう。答案の書き方は、一朝一夕で身に付くものではありませんが、いつまでも間違った方法で答案を書いているのは、永遠に答案が「書けるような気になる」だけです。是非、本講座を通して、一日も早く良い答案を書く方法を身に付け、答練に励んで欲しいと思います。(第6回新司合格者 O. Y)

法的三段論法の重要性を再認識させられるレジュメです。本試験では必ず「!？」が生ずるものだが、そんな時こそ基本に立ち返って三段論法で乗り切ることが鉄則であると思う。このレジュメはその大切さを教えてくれる。また、答案はとにかく書き切ることが生命線となってくる。時間内に書き切れない人は、自分の論文力に何らかの「治療」が必要な可能性が高い。レジュメではその治療法の数々が紹介されている。

頭の中でわかっていてもいざ書こうとすると書けない・途中答案になってしまう等、答案の書き方に悩んでいる方は、この講義がきっと何かのきっかけになると思うので、受講を強くおすすめします。(第6回新司合格者 M. Y)

司法試験合格レベルの論文を書くための基本的なルールが詰まっています。戦略的かつ具体的な論文の書き方を提示しているため、このルールを会得すれば、確実に論文力がアップすると思います。合格者が意識している論文の書き方の秘訣が分かります。司法試験に合格するための論文の書き方・戦略が、余すことなく示されており、受験生必見です。ここまで司法試験を分析し、戦略的に勉強をすれば、どんな問題が出てもしっかり合格できるだけの論文力が身につくと思います。もっと早くこれを知りたかったです。(第6回新司合格者 H. K)